

宗田運平（そうたうんぺい）（1/2）

～江戸にも名を知られた数学者～

唐津市見借（みるかし）の庚申社（こうしんしゃ）に下る道沿いに大きな石碑が建っています。石碑には「先覚（人より先に学問をして導いた人）宗田運平先生」と刻まれています。宗田運平とはどんな人だったのでしょうか。

宗田運平は、天明7年(1787年)黒川村（今の伊万里市黒川町）庄屋宗田信左衛門の長男として生まれました。宗田家は代々見借村の庄屋を受け継いでいましたが、当時は祖父の清右衛門が見借村の庄屋をしていたので、運平の父信左衛門は黒川村の庄屋を命ぜられていました。

当時の庄屋の子供たちは、自由に私塾で学べるという環境に恵まれていましたので、運平は11歳で横竹村（今の唐津市鎮西町横竹）庄屋富田楽山の由義齋で学び、14歳になると柏崎（今の唐津市柏崎）の蒔徳軒（おんとくけん）で塾師として名高い稲葉伊蒿の教えを受けました。

運平は17歳になった時、祖父の後を継いで見借村の庄屋を務めることとなります。若くして庄屋になった運平は、庄屋としての忙しい仕事を務めながら農業に励み、夜は書物を読み勉強を続けました。

文化9年(1812年)運平が25歳の夏、彼の人生に大きな影響を与えるできごとがありました。

それは、伊能忠敬が幕府測量隊を率いて唐津東松浦地方の測量にやって来たことです。伊能忠敬は、みなさんもよくご存知のように、17歳で伊能家へ養子に入り、傾きかけていた家業の酒造業を立て直すと、49歳で家業は子供達にまかせ、自分は江戸に出て19歳も年下の幕府天文方高橋作左衛門について和算（日本に古くからある数学）・天文学・暦学（太陽や月の規則正しい動きから暦をつくる技術を学ぶ学問）などを学びます。やがて、その知識を生かして日本全国の測量を行い、大日本地図を完成します。

伊能忠敬の率いる幕府測量隊が唐津東松浦地方を測量して廻ったのは、彼が67歳の時です。『伊能忠敬測量日記』によれば、唐津東松浦地方には文化9年8月17日から9月16日まで約1か月滞在し測量を行っています。この時唐津藩は、測量隊一行の道案内、測量器具の運搬、宿泊の準備から食事の世話まですべて村の庄屋達に任せました。この時25歳であった見借村庄屋宗田運平は、測量隊の手伝いをしながら、67歳とは思えない力強さで測量隊の先頭に立ち測量をして歩く伊能忠敬の姿を目のあたりに見て、自分もいつかはこのような人になろうと思ったに違いありません。それから3年後、運平は和算を学び、やがて天文学や暦学にも興味を示すようになり、彼の学問に対する熱心さは藩内に知れわたるようになりました。

～2/2へつづく～

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



宗田運平記念碑（見借庚申社下）



（『郷土につくした人々』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

宗田運平（そうたうんぺい）（2/2）

～江戸にも名を知られた数学者～

～1/2からつづく～

宗田運平は天保7年(1836年)50歳の時、見借村に私塾「愛日亭」を開きます。ここで彼は、儒学（中国の古い学問）だけでなく天文学や和算（数学（注1））も教えています。「愛日亭」には、村の若者ばかりでなく唐津藩士が運平の教えを受けに通ってきました。明治の初期に唐津の教育界で数学の大家として多くの人材を育てた小田周助もその1人でした。

（注1）運平は、『算法芥法問堂』や『算法通解』等数学の書物を著しています

弘化元年(1844年)運平は江戸に上り、当代一流の数学者長谷川善左衛門弘の門をたたきます。この時運平は58歳、師の長谷川善左衛門弘は23歳年下の35歳でした。年者いたからだで300里の道を歩き、江戸まで勉強に行こうとする熱意にはただ驚くばかりです。

やがて運平は、めきめきと頭角を現し、長谷川門下の高弟のひとりとして知られるようになります。運平は恩師の長谷川先生に、このまま江戸にとどまるよう強くすすめられますが、それを断り帰郷して「愛日亭」で儒学や数学の講義を続けて行きます。

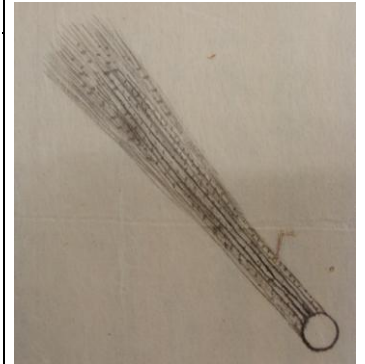
安政5年(1858年)唐津地方の上空にほうき星（すい星）があらわれました。当時ほうき星があらわれると不吉なことが起こるといわれていましたので村人は恐怖にかられましたが、運平は「愛日亭」で西洋の天文学の知識を紹介し、ほうき星はけっして不吉なものでないことを知らせ村人を安心させました。

晩年の運平は、子供たちに次々に先立たれ不遇でしたが、学問への情熱は生涯かわらずに持ち続け、明治3年(1870年)84歳の高齢でなくなりました。

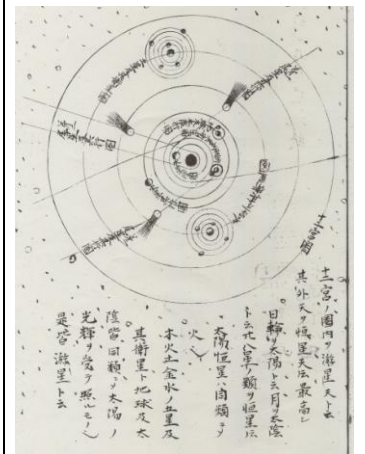
分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



村人が画いた「ほうき星」の絵



宗田運平が天体を説明するために用いた図

（『郷土につくした人々』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html